

1 南市市環第 1 2 6 号
令和元年 7 月 9 日

京都府知事 西脇 隆俊 様

南丹市長 西村 良平

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る計画段階環境配慮書に
ついての環境保全の見地からの意見について（回答）

令和元年 6 月 1 0 日付、元環管第 2 1 5 号にて照会のありました標記の件について、
下記のとおり回答します。

記

1 振動、騒音、低周波音

新幹線の走行における、振動、騒音及び低周波音の発生について、生活環境や動物への影響が想定されるため、適切な対応を実施すること。

2 水環境

概略ルートでは、地域の重要な水源となる箇所を通過する恐れがあり、構造物構築による流量の減少等の影響が懸念されるため、十分な調査を実施し、路線位置の選定について配慮されたい。

また、由良川最上流域であるため、下流域への流量や水質に係る影響が懸念されるため、影響の回避、低減に努めること。

3 景観

農山村の原風景を有する伝統的建造物群保存地区及び芦生の森の近隣を通過するルートであることから、事業の実施にあたって、近傍の景観に配慮すること。

4 動植物、生態系

京都丹波国定公園のうち、第 1 種・第 2 種特別地域に指定されている芦生の森を回避したルート選定とされているが、その周辺についても希少種をはじめ多種多様な動植物が生息していることから、丁寧な現地調査を行い、生息環境の変化について予測、評価を行うこと。

【裏面】

5 文化財

概略ルートでは、城跡や寺跡といった埋蔵文化財を通過する恐れがあることから、京都府教育委員会や南丹市教育委員会とのヒヤリング等を実施のうえ、影響の回避、低減に努めること。